

⑫ 特許公報(B2)

平4-45214

⑬ Int. Cl.⁸ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公告 平成4年(1992)7月24日
 B 01 J 23/90 M 8017-4G
 27/28 M 6750-4G
 // C 02 F 1/74 1 0 1 7158-4D

発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 触媒の再生処理法

審判 平3-5604

⑯ 特願 昭56-215854

⑰ 公開 昭58-114733

⑱ 出願 昭56(1981)12月28日

⑲ 昭58(1983)7月8日

⑳ 発明者 森 武 充 大阪府大阪市東区平野町5丁目1番地 大阪瓦斯株式会社内

㉑ 発明者 上 殿 紀 夫 大阪府大阪市東区平野町5丁目1番地 大阪瓦斯株式会社内

㉒ 発明者 原 田 吉 明 大阪府大阪市東区平野町5丁目1番地 大阪瓦斯株式会社内

㉓ 発明者 山 崎 健 一 大阪府大阪市東区平野町5丁目1番地 大阪瓦斯株式会社内

㉔ 出願人 大阪瓦斯株式会社 大阪府大阪市中央区平野町4丁目1番2号

㉕ 代理人 弁理士 三枝 英二 外1名

審判の合議体 審判長 高松 武生 審判官 和田 靖也 審判官 塚中 直子
 公害防止関連技術

㉖ 参考文献 特開 昭54-10294(JP, A) 特開 昭53-20663(JP, A)

特公 昭44-17741(JP, B1) 特公 昭37-16585(JP, B1)

1

2

⑳ 特許請求の範囲

1 鉄、コバルト、ニッケル、ルテニウム、ロジウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金およびタングステンならびにこれら金属の水に不溶性または難溶性の化合物の1種または2種以上を触媒活性成分として含有する廃水の湿式酸化用担持触媒の再生方法において、触媒をギ酸および/またはシュウ酸を含む水溶液に40~85℃で接触させた後、触媒と接触状態にある該水溶液を85℃以上に加熱するかまたは触媒と接触状態にある該水溶液に強酸を添加することによりギ酸および/またはシュウ酸を分解させ、還元性分解成分により触媒の還元を行なうことを特徴とする触媒の再生方法。

㉑ 発明の詳細な説明

本発明は、廃水の湿式酸化に使用される触媒の再生処理法に関する。

化学的酸素要求物質(以下COD成分と記す)、

懸濁物質或いは場合によっては更にアンモニア等をも含む廃水の処理方法については、種々のものが提案されている。本発明者等もこの様な廃水の処理方法につき長年研究を重ねた結果、触媒の種類、湿式酸化に使用する酸素の濃度及び供給量、廃水の子備的pH調整、湿式酸化反応中のアルカリ物質供給等が、処理効率、使用する機器類の腐食、触媒の寿命等に大きく影響することを見出し、該知見に基いてすでに特許出願を行なっている(特願昭51-95507号、特願昭52-110257号、特願昭56-165168号等)。これ等の先願方法では、鉄、コバルト、ニッケル、ルテニウム、ロジウム、パラジウム、イリジウム、白金、金、タングステン等の金属並びにこれ等金属の水に不溶性又は難溶性の化合物の少なくとも1種をそのまま或いはアルミナ、シリカ、シリカーアルミナ、チタニア、ジルコニア、活性炭等の担体に担持させた状態で触媒として使用することが出来る。この様